

令和7年度 社会福祉法人平針福社会 事業計画

近年、気候変動による自然災害、地震や豪雨等による被害が毎年のように日本各地で起きており、本会としても大災害発生時に万全を期すべく日々努めているところです。令和7年1月15日、政府の地震調査委員会によりマグニチュード8～9程度が想定される南海トラフ巨大地震の30年以内の発生確率が、これまでの「70～80%」から「80%程度」に引き上げられました。令和6年8月に初めて「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」が発表された際には、各施設において備品の転倒防止の確認や非常時の対応方法及び持ち出し物品の点検等を行いました。令和7年度においても引き続き緊張感をもって、大規模災害に備えた施設運営を継続してまいります。

社会福祉事業におきましては、施設を利用される皆様の安心・安全を守り、一人ひとりの人権を尊重し、日々のサービスが豊かなものとなるよう創意工夫に努めて、利用者のサービス利用満足度を高められるよう職員一同邁進いたします。さらに、物価高騰や賃上げ等の社会的動向を見極めながら、中長期的な法人経営を念頭に施設運営を実践するとともに、福祉人材の確保及び育成等に力を注いでまいります。

本会の諸課題に対しては、健全な経営及び安定的な法人運営を目指し、以下の項目を重点的に取り組みます。

1 障害福祉サービスの充実

法人の経営理念に基づき、職員一人ひとりが福祉サービスの充実及び向上に努めます。

(1) 障害者の権利擁護

- ア 各種研修への参加等による基本的な障害者支援の再確認
- イ 虐待防止及び身体的拘束等に関する適切な委員会の開催と研修の実施
- ウ 人権意識の向上

(2) 強度行動障害など重度障害者の受入れ

- ア 重度障害者に対する理解をより深めるための研修への参加等
- イ 必要な施設整備等

- (3) 相談支援事業所と法人内事業所との連携強化
- (4) 施設の健全な経営に向けた取組の実施
 - ア 定員の充足、利用率アップ等による各施設の安定した収入の確保
 - イ 利用者ニーズの適切な把握とサービス内容の見直し、改善
 - ウ 各種課題の洗い出し及び課題取組による業務生産性の向上
 - エ 迅速かつ的確な事務処理の実現
 - オ 中長期計画における課題への取り組み
- (5) 感染症、災害への対応力の強化
 - ア 事業継続計画の定期的な見直し、共有
 - イ 事業継続計画に基づいた研修、訓練の実施
 - ウ 感染症、災害発生時の情報共有、報連相の徹底

2 コンプライアンス・ガバナンスの強化

- (1) 法人体制の強化
 - ア 事業所間の連携の強化
 - イ 人材の確保及び育成
 - ウ ハラスメント委員会の開催及び研修の実施等を通じ、あらゆるハラスメントを「しない、させない、許さない」職場風土の確立
 - エ 職員参加
 - ① 理事長・常務理事及び各施設管理者等で構成する「法人運営会議」の下に課題別検討会を開催し、法人運営に職員の考えを反映させます。
 - ② 共通の課題に対する理解を深め、統一的に対応するために、必要に応じて職員主体の勉強会等を開催します。
- (2) 法改正に伴う就業規則等の新規策定・改正等
 - ア 「働き方改革」関連制度、その他法改正等への対応